



【工場】 導入事例

山福水産株式会社

立ち仕事の多い水産加工業界、アルケリスによる体への負担軽減は期待できます！

山福水産株式会社
代表取締役 見崎 真 様

資本金：1000万円
社員数：56名
事業内容：水産物の買付・加工・販売



アルケリス導入の経緯

焼津港から水揚げされた冷凍のかつお・まぐろの買付、加工、販売などを行っており、水産加工は立ったまま作業をする工程が多くあり、従業員の負担軽減対策を探していました。

そんな中、たまたまラジオでアルケリスを知り、導入することになりました。



どの工程で使用していますか。

一つは「ロイン加工」。冷凍した魚を切ったり削ったりする工程です。床が常に水で濡れていて、滑りやすい環境ですが、アルケリスを装着していても特に滑ったりはしていません。

また「検品」では、ほぼ一か所に留まるため使いやすく、新製品「アルケリスFXスティック」のおかげで、細かい移動の多い「梱包」でも仕事がしやすいです。

アルケリスに期待していること

何より「従業員の疲労軽減」です。

特にカツオはシーズン性の高い商材なので、疲労が溜まり休んでしまう人が出ると、その分他の人にしわ寄せがいき、さらに疲労が溜まる悪循環になってしまいます。

アルケリスによる足腰の負荷軽減によって、社員の疲労が少しでも軽減できれば嬉しいです。

